

カルスト通信

も り

# 森林のたより

Karst  
correspondence

2000  
vol.2



カルスト森林組合



カルスト森林組合

貸借対照表

平成11年5月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産合計	232,868,000	流動負債合計	41,420,056
固定資産		固定負債合計	91,890,114
有形固定資産合計	39,952,481	負債合計	(133,310,170)
無形固定資産合計	245,140		
外部出資合計	42,750,000	資本の部	
その他の固定資産合計	9,213,638	出資金	154,834,000
固定資産合計	(92,161,259)	剰余金合計	39,915,381
繰延資産	3,030,292	資本合計	(194,749,381)
資産合計	328,059,551	負債及び資本合計	328,059,551

損益計算書

平成10年6月1日～平成11年5月31日まで

科 目	小 計	合 計	指 導	販 売	購 売	利 用	金 融
I 事業総損益							
1 収 益	524,730,099		6,970,238	16,111,761	29,109,480	472,028,538	510,082
2 費 用	341,405,258		8,342,357	9,814,493	24,329,436	298,466,140	452,832
事業総利益		183,324,841	△1,372,119	6,297,268	4,780,044	173,562,398	57,250
II 事業管理費			平成10年度剰余金処分案				
1 人 件 費	116,733,287						
2 旅費・交通費	768,171						
3 事 務 費	4,278,026						
4 業 務 費	2,512,410						
5 諸税負担金	5,195,840						
6 施 設 費	12,847,028						
7 雑 費	593,515						
事業管理費計		142,928,277					
事業利益		40,396,564					
III 事業外損益							
1 事業外収益	2,480,868						
2 事業外費用	743,084						
事業外損益経常利益		1,737,784					
IV 特別損益							
1 特別利益	64,080,341						
2 特別損失	62,257,425						
特別損益		1,822,916					
税引前当期純利益		43,957,264					
法人税及び住民税額		17,600,000					
当期剰余金		26,357,264					
前期繰越剰余金		4,667,331					
役員退任慰労金積立金取崩額		-					
当期末処分剰余金		31,024,595					

平成11年7月28日第2回総代会で議決



カルスト森林組合推進協議会長  
美祢市長 牛尾 一

組合員の皆様には、平素から行政の諸施策に、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

林政におきましては、平成十年二月二日に、美祢農林事務所管内の三市四町の森林組合の合併によりカルスト森林組合が発足いたしました。これは、ひとえに県ご当局、並びに県森林組合連合会のご指導、また、関係者各位の並々ならぬご尽力と、組合員の深いご理解とご協力によるものであり、ここに深甚なる敬意を表する次第であります。さて、ご承知のとおり森林・林業をめぐる諸情勢は、外材の輸入の増大を始め、農山村の過疎化、林業従事者の減少・高齢化、木材価格の低迷等、一段と厳しい状況にあります。

一方、近年地球的規模の環境問題が

大きく取り上げられる中、森林に対する関心は、木材を生産するばかりでなく、国土保全・水資源のかん養・保健休養の場の提供等、森林の持つ多彩な諸機能によせられる期待は年々高まり、森林の多面的機能の発揮が求められ、森林組合の果たす役割は一層重要になってきております。

このような時期にカルスト森林組合が誕生し、機構を一新され、経営の健全化・合理化を図られ、林業経営基盤の強化が整いましたことは、林業振興の拠点となり、今後の林業に活路を開き、地域の振興・発展の大きな原動力になるものと期待しているところであります。

また、国・県の事業方針も地域林業から流域林業へと移行され、この合併を契機に流域林業振興の中核的担い手として、川上と川下の連携を取り、また、組合員の皆様との連携の強化を図られ、組合員の期待に応えられますようお願い致します。

この広報誌が今後、一層の内容の充実を図り、組合員の皆様に愛読されますことを大いに期待しております。

終わりに、カルスト森林組合の今後益々のご発展と、組合員皆様方のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、発行に贈る言葉と致します。



山口県美祢農林事務所森林部長  
内田 征夫

組合員の皆様方には、平素から森林林業行政の推進につきましては、格別の御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、わが国の林業・木材産業を取り巻く環境の厳しさは、すでに御承知のとおりで、林業生産活動は総じて低調に推移しています。

このため、スギ、ヒノキの人工林の多くが、間伐を必要としているにもかかわらず、間伐必要面積の約半程度しか実施されていない状況にあります。この状況が続きますと、木材の生産のみならず、水源かん養や土砂流出防備等の公益的機能の高度発揮にも支障が出てきますので、県としましては、間伐の推進を森林・林業行政の中で最重点課題と位置付け、積極的に推進し

ているところです。

平成十年度から間伐に対して単県の嵩上げ措置をし、間伐事業を高率の補助としたところですし、当所管内（山口流域）においては、間伐推進5高運動（高材質・高収入・高公益的機能発揮・高密度網・高能率）を展開中です。先般、平成十一年度美秋材等山口流域良質材品評会が開催されましたが、出品材の多くは、品質的に他の地域に負けない立派なものでした。

この品評会により「美秋材」としての品質はある程度実証されたわけですが、これを今後売り込んでいくためには、形質に優れ利用価値の高い木材を安定的に供給する必要があります。

そのため、今の段階では、間伐の推進が極めて重要で、間伐推進のキャッチフレーズも「間伐で豊かに育つ美秋材」としているところです。

どうか、カルスト森林組合を中心として、計画的に間伐が推進されますよう組合員の皆様方の御理解と御協力ををお願い致します。

終わりに当たり、カルスト森林組合のますますの御発展と、組合員の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしますとともに、森林・林業行政に対する御意見や御提案がありましたら、当所森林部までお寄せくださるようお願い申し上げます。

種類	役員退任慰労積立金	機械車両倉庫積立金
積立目的	役員退任慰労金支給規程に基づき支給するため。	機械車両を格納する倉庫を建設するため。
積立目標	役員退任慰労金支給規程の算定方法に依り算出した金額。	機械車両倉庫建設資金20,000,000

脚注 1 次期繰越剰余金中、教育情報資金は、1,500,000円である。  
2 特別積立金のうち目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額等は次のとおりである。





造林補助事業は、大きく育成単層林整備と育成複層林整備の二つの事業に区分されます。

育成単層林整備は、伐採跡地に植林（人工造林）し育成していくものです。補助対象事業には、人工造林、保育（下刈、除・間伐、枝打ち等）及び作業路の開設等があります。

育成複層林整備は、人工林の抜き伐り（受光伐）を行い、あいた空間に植林（樹下植栽）したり、天然林を改良（抜き伐り、植栽・複層林改良）し、優良な林分を育成していくものです。補助対象事業には、受光伐、樹下植栽、複層林改良、保育（下刈、除・間伐等）及び作業路の開設等があります。



複層林改良・残存木の中へ植林

- ・ヤマザクラ、カシ、シイ、ナラなど優良な天然林に改良するもの。

面積 1 施行地当たり 0.10ha以上  
上層木林齢 11年生以上  
上層木本数 0.10ha当たり30本以上

#### ○除・間伐事業

- ・除伐事業 造林地内の育成に支障の不用木竹を100%除去するもの。

・間伐事業 人工造林のスギ、ヒノキを15%以上抜き伐るもの。  
面積 1 施行地当たり 0.10ha以上  
林 齢 11～30年生

#### ○育成単層林整備事業

- ・スギ、ヒノキ、クヌギ、ケヤキなどの単層林を造成するもの。

面積 1 施行地当たり 0.10ha以上

#### ○育成複層林整備事業

- ・スギ、ヒノキを抜き伐りした跡に植林し、林齢の違う森林を造成するもの。

面積 1 施行地当たり 0.10ha以上  
上層木林齢 16～45年生  
上層木本数 0.10ha当たり30本以上



ハシゴを使って高所の枝打ち



#### ○枝打ち事業

- ・スギ、ヒノキの枝を2～8mまで打ち上げるもの。

面積 1 施行地当たり 0.10ha以上  
林 齢 11～30年生まで

※ただし、16年生以上の初回枝打ちは補助の対象となりません。



刈払機で不用木の除去

面積、林齢、本数などは、標準的な補助基準を記載しています。  
事業の種類によっては、補助の条件が違ったり、補助がない場合もあります。  
条件については、ぜひお問い合わせ、ご相談ください。

お申し込み 本所森林育成課・各支所まで

## 写真で見る組合の歩み



11.7.13 フレックス森林作業員現地講習



11.11.3～7 常勤役職員中国植樹ボランティアの旅



11.11.18 光市森林組合一行来訪



11.11.30 美秋材等山口流域良質材品評会



11.7.28 第2回カルスト森林組合総代会



11.11.10 林業労働災害救助訓練実施



11.11.27 組合職員採用第1次試験



11.12.1 福岡県京築林業推進協議会一行来訪



【林家訪問】…シリーズ①



田中幸一さん（76才） T 12年10月1日生  
所有林 人工林・8.5ha、天然林・1.5ha  
田中さん宅を訪れる人がまず驚嘆するのは、氏の居宅から一望できる裏山の美林であろう。それはさしずめ、手入れの行き届いた庭園といった趣向きである。だから林業に関心の薄い人でも思わず引き込まれてしまうほど魅力にあふれ、各地から取り寄せられた品種の数々がひととき光彩を放っている。

しかしながら、このような光景を目の前にして、振り返れば専門林家として40年間研鑽を重ねたにもかかわらず、失敗も少なからずあったと氏は率直に認める。だからこの裏山には、氏によって選び抜かれた精英樹とともに、幾多の思い出が尽きない山林であり、氏にとり、後世に伝えるべくかけがえのない大切な家宝なのである。田中さんはもともと徳島県那賀郡木沢村の出身。縁あって昭和34年に一家をあげて美祢市へ移住。以後、農林業を営み、現在に至る。氏の初期の植林は郷里の木頭杉が大半を占めていたが、徐々に地元産、他県産の挿杉に移行し、最近では桧の比率が高くなり、南郷・狗留孫桧などの挿桧も導入されている。また氏の山林経営の特長は、保育や搬出作業の効率を上げるため、随所にトップカー専用路が開設されていることで、その延長は1,500mにも及ぶ。

何といても氏の最大の功績は、管内の林家が良質材生産の

技術を持ち合わせていなかった頃、自ら先進地に学びつつ、自己の持つ知識や技術の普及活動につとめ、「美秋林業圏」振興の旗手、指導者として貢献されたことではなかろうか。それらがみごとに結実し、例年秋に「美秋材等山口流域良質材品評会」を開催するまでに至ったのは、皆さん誰れしも認めるところである。氏は長年、美祢市林業経営研究会長、美祢地区林業士会長の職にあって多忙ではあるが、林業相談にも気軽に応じていただける。お問い合わせは下記まで。

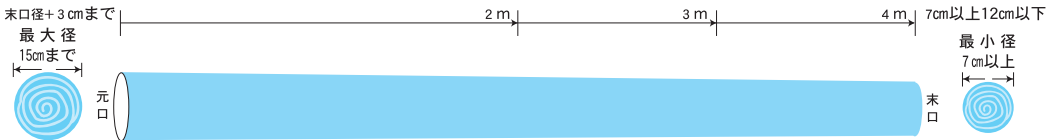
〒759-2142 美祢市東厚保町川東2365 TEL0837-52-3753



鹿児島県財部町森林組合の一行を迎えて

お知らせ

県森連木材共販所が小径木・間伐材の買取りを始めました。



材長	樹種	スギ	ヒノキ
2 m		150 円	250 円
3 m		200 円	300 円
4 m		300 円	500 円

〈買取材の条件〉

1. 末口径12cm以下の材だけを共販所土場まで搬入すること。
2. 共販所にかける一般材との混載材は不可。
3. 直材であること。曲材は不可。

参考

組合管内のSさんはヒノキ4 m82本、3 m31本、スギ4 m16本、3 m12本計141本、5,468m<sup>3</sup>を組合トラックで共販所土場まで搬入。57,500円の売上げから、組合経費（運搬代、手数料、消費税）を差引いて、46,289円の手取りでした。

組合の一部機構改革  
及び人事異動

平成11年9月1日より専門事業に対応しやすくするため、従来の事業課を森林整備課と森林育成課の2課に分け、総務課と併せて3課体制とし、支所についても、一部異動がありましたので、お知らせします。

総代名簿

組合員の代表として、総代の方々が皆様の地区から選出されていますので、ご紹介いたします。任期は平成10年6月1日から平成13年5月31日までの3年間です。

# 作業班紹介

今回は秋芳支所・秋山班の方々を紹介します。この日は、手ノコによる枝打の作業中を暫く手を休めてもらってのスナップです。皆さんは山の仕事専門に20～40年のベテランばかりで造林、下刈、枝打、除間伐となんでもこなされます。少々きつい労働にも「自分たちの手入れをした木が育っていくのがなんとも言えない楽しみ」と一様に口を揃えて言われるものの、作業班の高齢化のすすむなか、「厳しい林業には、後継者が育たないのが唯一の悩みのタネ」と一瞬真剣なまなざしとなって語る班長の秋山元さん（写真右端から2人目。45才）。

班長自身、他の作業班で5年間、林業のノウハウを学んで独立し、すでに班長歴15年というキャリアの持ち主。それに加え、班長という指導的立場から育林技術士A級の資格保持者でもある。また昨年11月小郡町で開催された美祢・吉佐地区選木技術競技大会では個人優勝を果たすなど選木技術の腕は抜群。それを見込んでの指名も少なくないようです。

何事にも意欲的な秋山班長は「長い付き合いから、

お互いの気心も充分わかっているし、仕事がスムーズにこなせる最大の秘訣は、班員全員のチームワークにある」と言い切る。秋山班14名のうち、7名には林業労働災害救命講習終了証が交付されています。まず事故のないことを願い、班員全員の益々のご健闘をお祈りします。



## 表紙の写真



京都北山林業にも劣らぬ立派な複層美林です。上層木は45年生のスギ、ヒノキ。下層木はオキノヤマ、シャカインの9年生で、造作者は杉山淳さん（写真、72才・秋芳町大字嘉万字半田）。本人は育成天然林も手がけられており、丹精を込めた保育の結果、いずれも立派に育っています。ちなみに手前は複層林作業路で、同氏の発起によって完成したもの。なお、自己の山林内にも支線が導入されていて、いわば夢のなった理想的な山林です。

## 良質材品評会開催される

去る平成11年11月30日、秋芳町民体育館で美秋材等山口流域良質材品評会が開催され、美祢・山口農林事務所管内の3市5町から129組、258本の良質柱材の出品があった。

最優秀賞は秋芳町の五嶋義一さん。2本1組の見積り価格は57,500円。この品評会は美秋材等山口流域の良質材の産地化とブランド化を目指すもので、毎年11月に開催されている。

当日、会場となった町民体育館には、多数の林業関係者がつめかけ、今後、自己の山林経営の指針とするため、出品された良質柱材を熱心に見入り、比較検討する姿があちこちで見られた。

写真は優秀賞に輝いた2面無節1面上小節の出品柱材。○印の箇所は枝打が適期に行われたことがはっきりと分かります。



## 編集後記

2000. vol. 2 (年2回発行)

カルスト森林組合も、平成12年2月2日で満2年を迎えます。昨年は広域合併をすすめる県内外からの訪問者も多く、忙しい年でした。この広報誌が組合員の方々の期待に添い、役立つものになるよう頑張りますので、ご意見等があればお聞かせ下さい。お願いします。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1  
TEL0837-52-3332 FAX0837-52-2587

本誌は再生紙を使用しています。